

能登半島地震に係る石川県珠洲市への応急対策職員派遣

・実施期間 令和6年1月27日(土)～令和6年2月2日(金)



珠洲市立健民体育館

派遣地までの状況



・七尾市 最初に家屋倒壊を目にする



・穴水町 通り沿いの家屋がほぼ被害を受けている



・穴水町 神社の鳥居が崩壊している（右は被害前の状態）



派遣地までの状況



・穴水町



・穴水町



・穴水町 土砂災害の様子

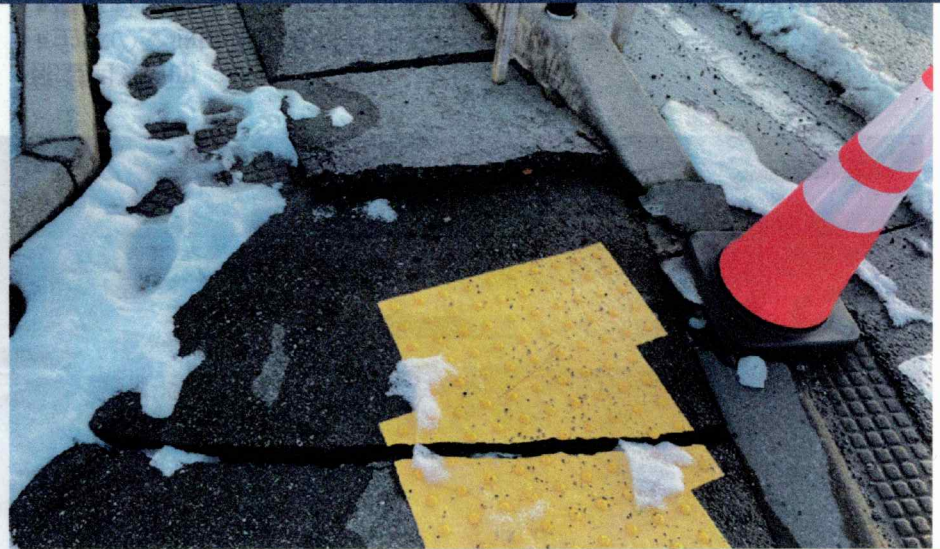


・能登町 路面
▶全体の交通は可能だが片側通行や凹凸がある
▶橋は軒並み隆起によって断絶し、応急措置をした様子が見られる

派遣地の状況



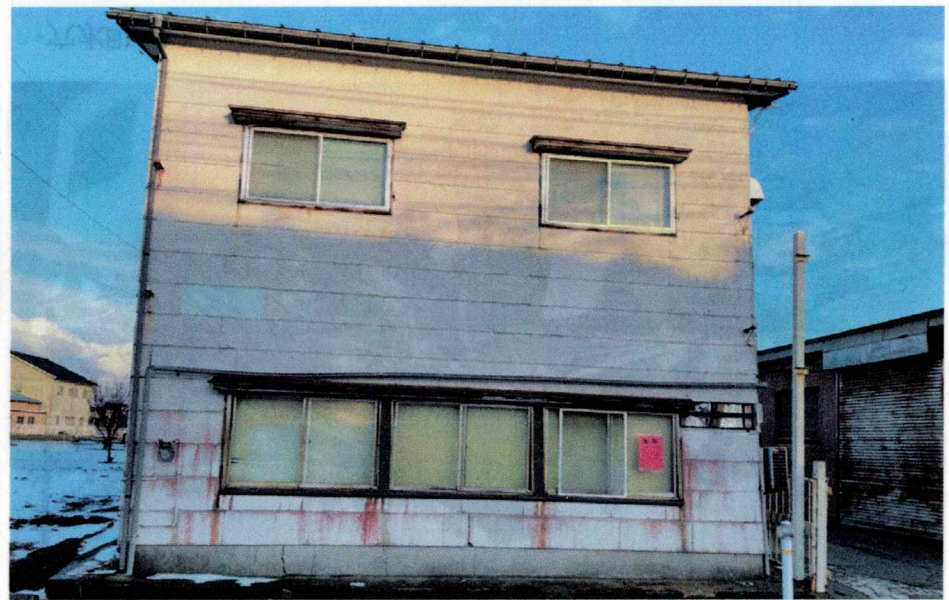
・珠洲市 大通り沿いに目立った倒壊が見られないものの一本外れると多数家屋の倒壊が見られる。



・珠洲市



・珠洲市



・珠洲市 家屋調査にて「危険」の表示あり

派遣地の状況



・珠洲市



・珠洲市



・珠洲市 マンホールが軒なみ隆起している



・珠洲市 災害拠点から歩いて10分程度で沿岸。海に近づくほど家屋被害の甚大さが増す。

派遣地の状況



・珠洲市 道の駅「すずなり館」の破損したモニュメント



・珠洲市 道の駅「すずなり館」駅舎のモニュメント



・珠洲市 道の駅「すずなり館」に常駐する日本赤十字社



派遣地の状況(業務地の様子)



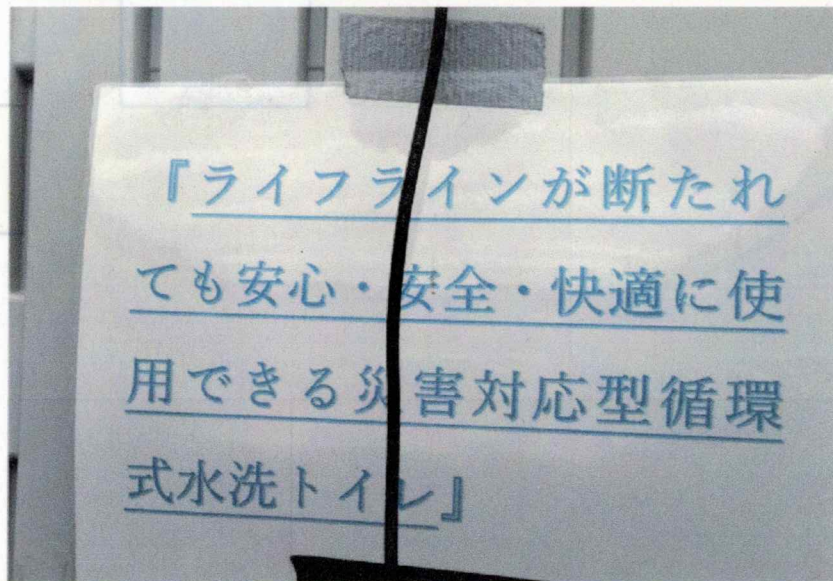
・珠洲市「珠洲市立健民体育館」



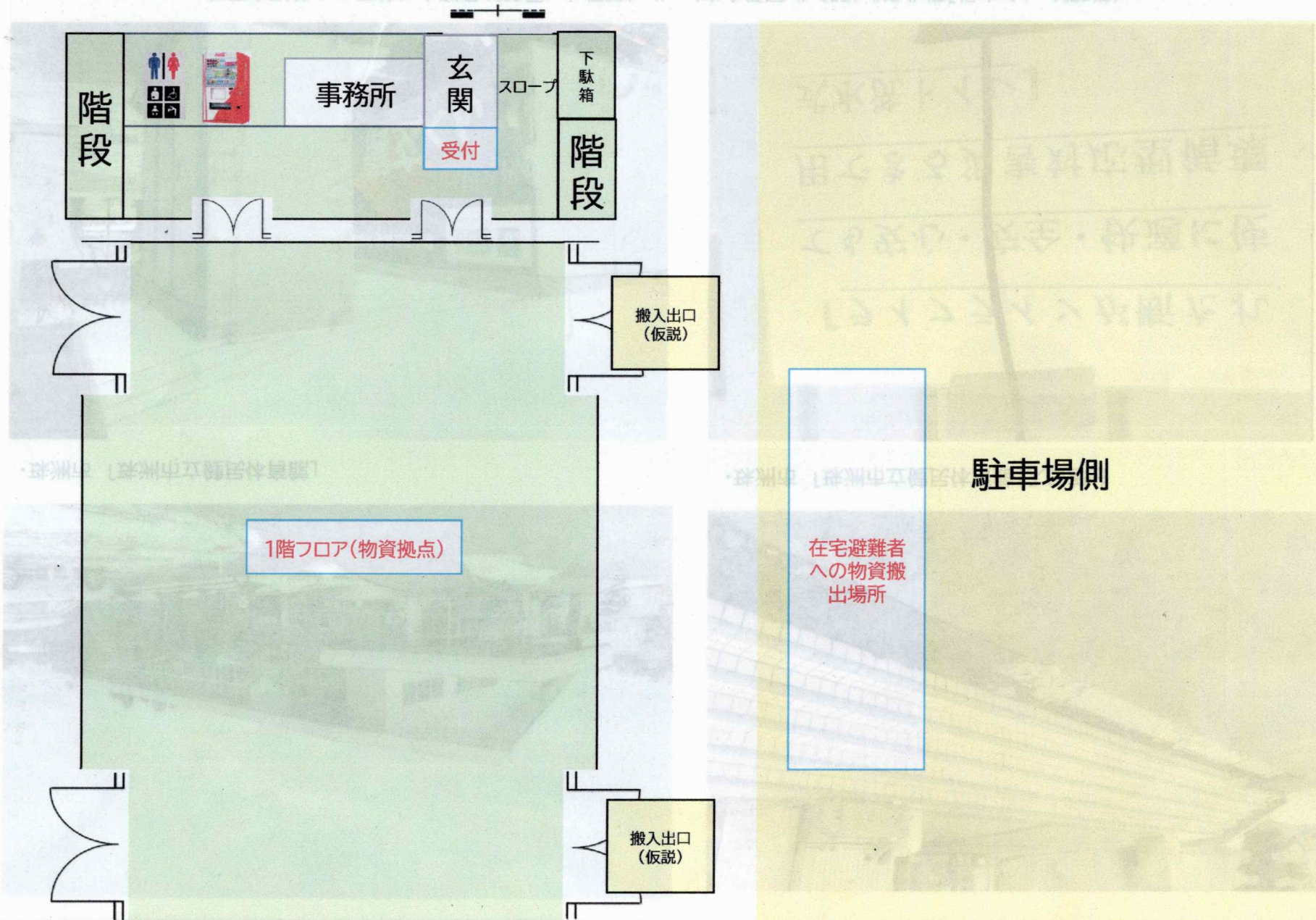
・珠洲市「珠洲市立健民体育館」入口部分



都留市到着の二日前に山梨県が設置した仮設トイレ（完全循環式・移動式浄化槽「信玄くん」が整備）



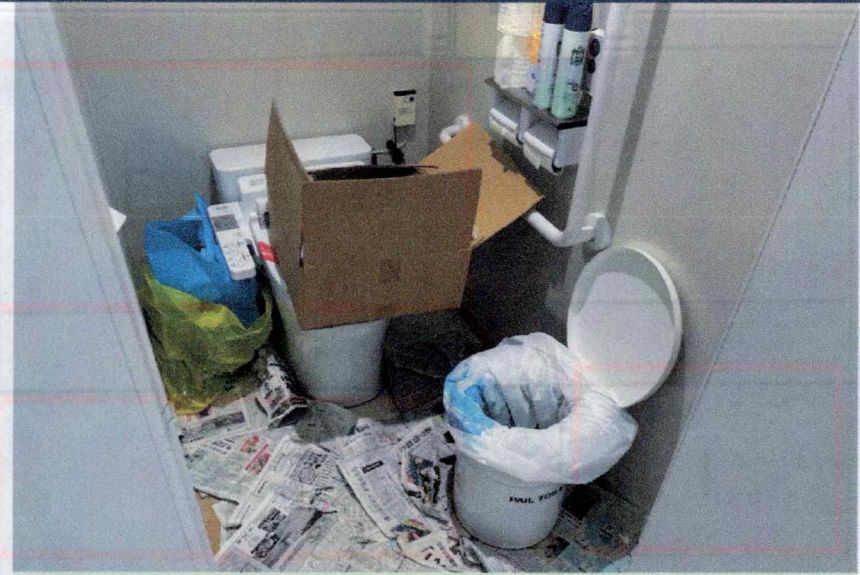
業務地概要マップ



業務地の様子



・「珠洲市立健民体育館」内トイレ 小便器の使用は可能(水洗は不可)

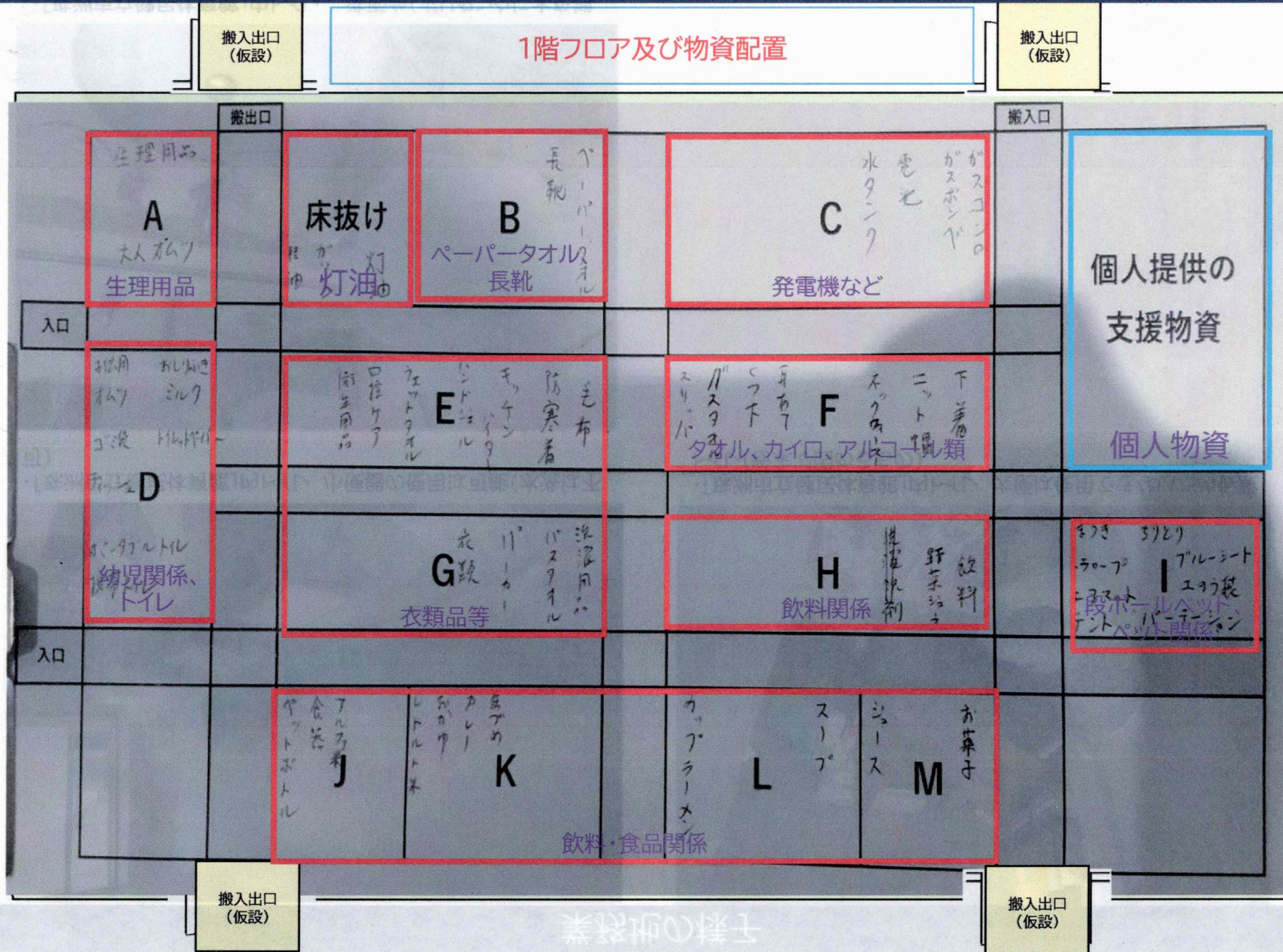


・「珠洲市立健民体育館」内トイレ 大便是使用できないため仮設トイレ(粉末で固めるもの)



・「珠洲市立健民体育館」内トイレ 洗面台(ポリタンクに水を補給するもの)

業務地の様子(フロアの物資配置)



業務地の様子(フロアの物資配置)

1階フロア(物資拠点)



床抜けした場所はビニールシートで覆い灯油・ガソリンを配置

業務地の様子(フロアの物資配置)



個人物資は使用可能・不可で選別(ほとんどが不可)

業務(在宅避難者への物資搬出)の様子



- ・在宅避難者への物資搬出の様子
- ・屋外にトラック、ブルーシート、受付台を配置し、12:00~18:00(14:30~15:30休憩)の間、来訪する在宅避難者へ物資を渡す作業を行った。
- ・途中から水の搬出については、1世帯の個数を限定するなどの対応があった。
- ・毛布類(着る毛布)、簡易トイレのニーズが高かった。

最初に考えてみるべき7つのこと

そのとき起きたこと①

いざ大地震が起きた時、どうしたらよいのか分からなかった
→地震発生時の対応をシミュレーション

そのとき起きたこと②

まったく情報が手に入らず、近所の状態すら分からなかった
→災害が起きたとき命を守るのは情報

そのとき起きたこと③

津波の恐ろしさを知らず、危険に身をさらしていた
→住んでいる地域の危険を知っておく

そのとき起きたこと④

停電で真っ暗になり、家電は全て使えなかった
→被災直後は灯りと充電器、電池が必要

そのとき起きたこと⑤

水をためておかなかったせいで、深刻な水不足に
→震災直後水が出たら、すぐに溜めておく

そのとき起きたこと⑥

夫婦で避難についての意見が合わなかった
→避難について家族で話し合っておく

そのとき起きたこと⑦

ガソリンが残り少なかったため、移動するのが大変だった
→車を持っている人は、こまめに給油すること

①地域コミュニケーション

②家族のルールの徹底

③自分の目線で考え、

防災用品をそろえること